



# 首都圏における電力供給のリアル

～電気を「つくる」地域と「つかう」地域のより良い関係を考える～

本プログラムでは、日本のエネルギーを取り巻く現状や電源立地地域（＝発電所が所在し電気を「つくる」地域）の実情を講義で学ぶとともに、JERA川崎火力発電所（神奈川県川崎市）と柏崎刈羽原子力発電所（新潟県柏崎市・刈羽村）でフィールドワークを行い、電気事業の現場実情や課題を把握します。電気を「つくる」地域とそれを「つかう」地域とでは、それぞれのメリット／リスク等の観点から様々な課題が考えられます。プログラムの結びでは、講義やフィールドワークを通じて得た知識も参考に、学生の皆さんの視点から、それらの課題の解決に向けて、「電源立地地域と首都圏とがより良い関係を築くにはどうすべきか」を考え、提案していただきます。



## 概要

詳細は別添の募集要項を必ず確認すること！！

### ▼対象・定員

法政大学に所属する学部生・大学院生 ※通信教育課程・特別学生を除く

定員 20名（ただし、最小催行人数10名）

### ▼スケジュール・内容 ※下記日程の他、各グループで予定を調整のうえ、発表準備等を行っていただきます

- ① 2/27(金)13:00～15:40  
オリエンテーション／日本のエネルギー事情を知る（講義） @法政大学
- ② 3/4(水) 9:45～13:00  
フィールドワーク① @JERA川崎火力発電所（JR川崎駅集合・解散）
- ③ 3/5(木) 13:00～16:40  
原子力発電所の安全対策／電源立地地域と首都圏の相互理解に向けて（講義）@法政大学
- ④ 3/9(月) 9:00～21:00  
フィールドワーク② @柏崎刈羽原子力発電所（JR東京駅集合・解散）
- ⑤ 3/12(木)13:00～16:00  
グループ中間発表／最終発表に向けたグループ準備 @法政大学
- ⑥ 3/18(水)13:00～16:00  
最終発表 @法政大学

### ▶▶申込はこちらから

下記URLまたは右記の二次元コードから申込フォームにアクセスしてください  
（申込フォームURL） <https://forms.gle/xexzh4a9mrpUCx2e7>

